

あれから3年10カ月、いま被災地では ～福島県新地町の報告～

とき：2015年1月24日(土) 13:30～15:00

講師：松本 普(ひろし)さん

日本聖公会「被災者支援センターしんち」専従スタッフ、
新潟県旧山古志村・名古屋笹島ほかでも支援活動継続中

ところ：仙台 YWCA (仙台市青葉区上杉 2-1-10) 1F ホール

参加費：300円 (資料代)

申込み：当日会場にお越しください

※ 問合せ：ywca@cocoa.ocn.ne.jp / tel: 022-222-9714 (仙台 YWCA)



震災当初は世界が、日本全体が、関心を示していました。
ところがかわりが薄い地域ではメディアも取り上げ
なくなってきています。一方で、仮設住宅では孤独死や
自死が問題になっています。

松本普さん(写真左端) 2011/9/24
～広畑仮設住宅 自治会女性部のみなさんと～

被災地の現状、仮設住宅の実情、必要とされる支援について、新地で支援活動に携わってこられた松本さんに語っていただきます。

震災から3年10カ
月経ちますが、まだまだ
ボランティアが必要と
されています。



これからボランティアを
始める方も、すでに支援活動に
携わっている方も、被災地・被災
者の現状と支援のニーズについ
て、一緒にまなびましょう。

仙台 YWCA は、仮設住宅訪問、Yわいマルシェ(産直広場ぐるぐると協働) & サロン、こころのケアボランテ
ィア養成講座、スタディツアー&リフレッシュツアーなどをおして被災者を支援しています。